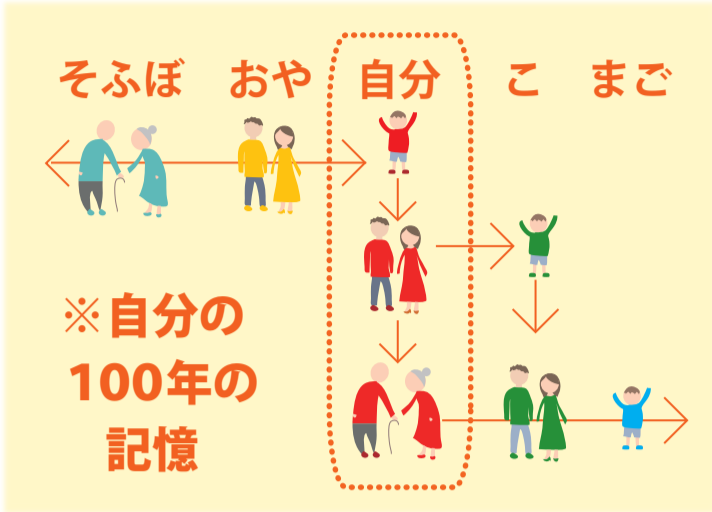


0 茨城町を誇りに思える「フィールド」を仕立てる

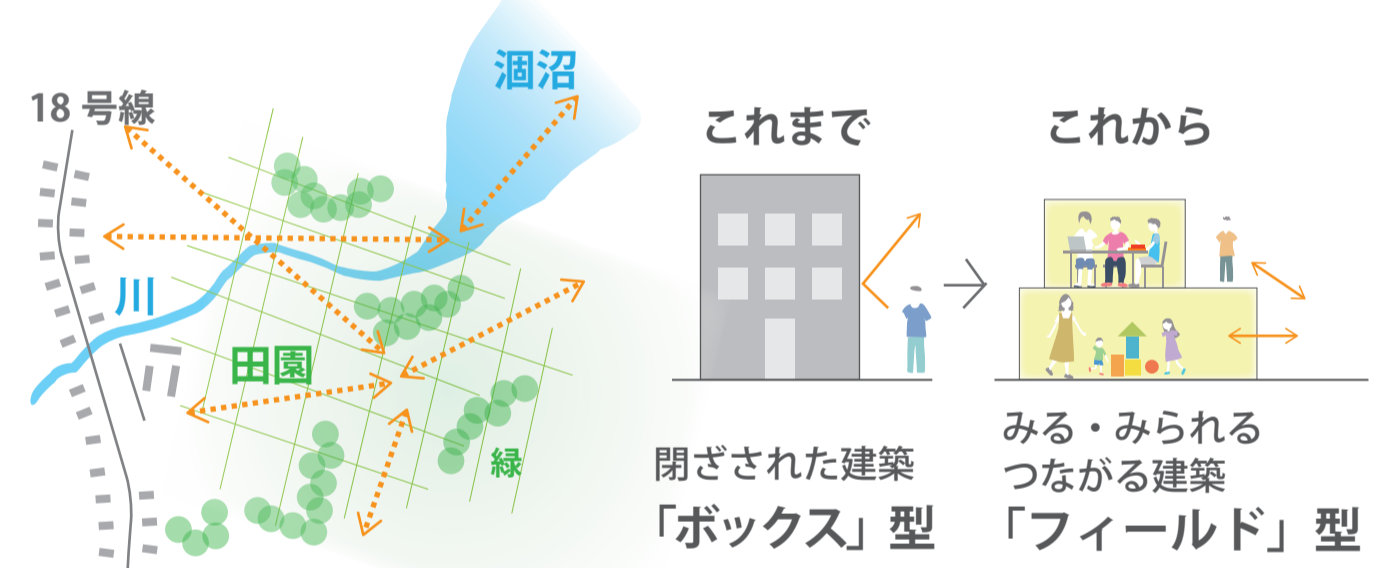
祖父母と一緒に感動したこの施設に、いずれ自分の子どもとともに、さらには孫も連れて訪れる…。五代に渡る家族の記憶を辿れる場所が身近にある、ふるさと・茨城町をイメージします。

「新たな文化的施設」は、町民の文化芸術活動を支える拠点であるとともに、町役場、ゆうゆう館を含めた、このエリア全体をひとつの「フィールド」と捉え、複数の公的サービスをつなぎ、相乗効果を高め、いく役割も担います。



1 みる・みられる、つながる、また来たくなる「フィールド」をつくる

周辺はのびやかで、開かれた風景がつづいています。一方、既存建築の多くはボックス型（クローズ型）で、内部の活動は外から見えづらのが現状です。内外がつながり、お互いがみえる「フィールド」型（ほどよいオープン型）建築を創り、町役場、ゆうゆう館とのつながりを強化、エリア全体の価値を高めます。



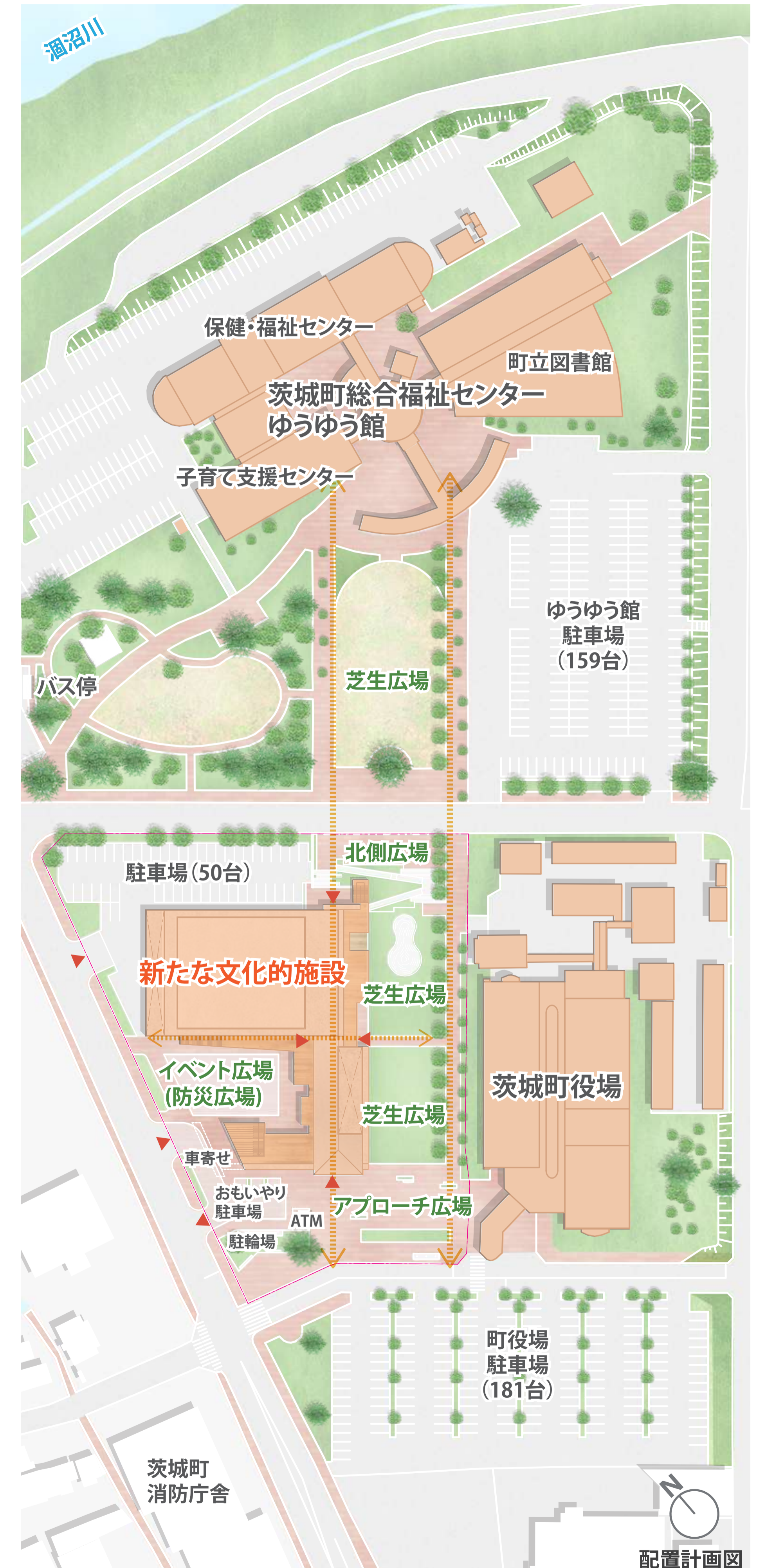
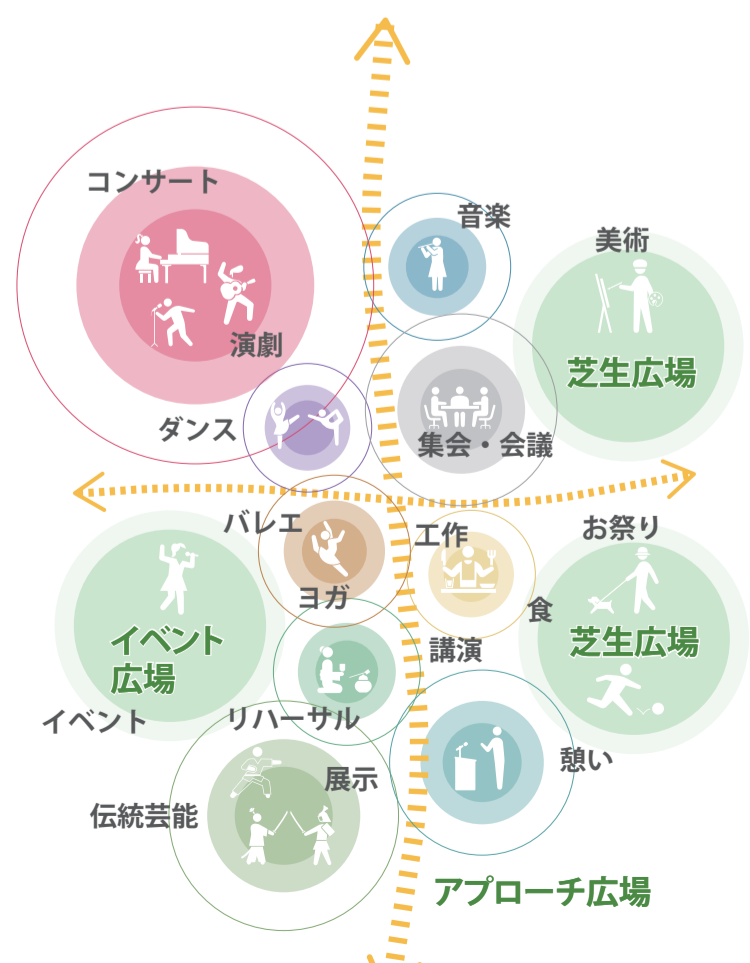
2 文化芸術を発信 多様な交流を促す「幹空間」

「かがやきストリート」

南北に施設を貫く動線としてだけでなく、町民の文化芸術活動を支える情報・交流スペースとして整備します。諸室内での活動がみえるだけでなく、活動の成果を発表する掲示板や展示・書架棚を設置します。

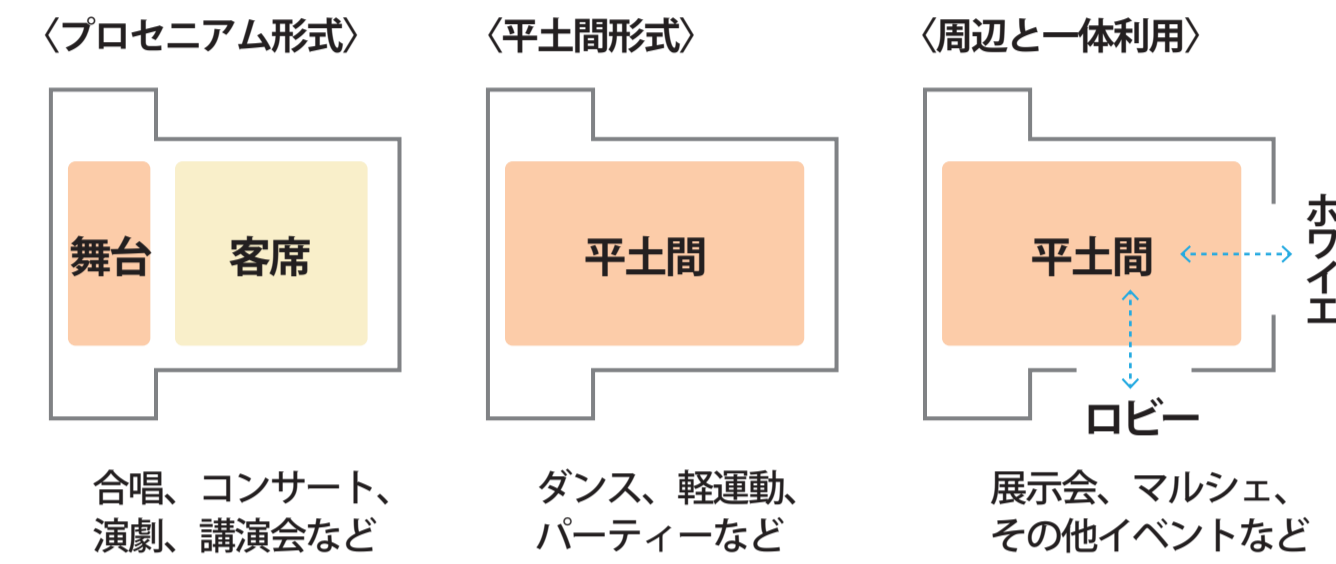
「活動諸室」

かがやきストリートに面して配置し、関連させやすい諸室を隣接させることで、文化芸術活動の相乗効果を期待します。さらに、町民のニーズを踏まえた性能と使いやすさに配慮し、利用率の向上を図ります。



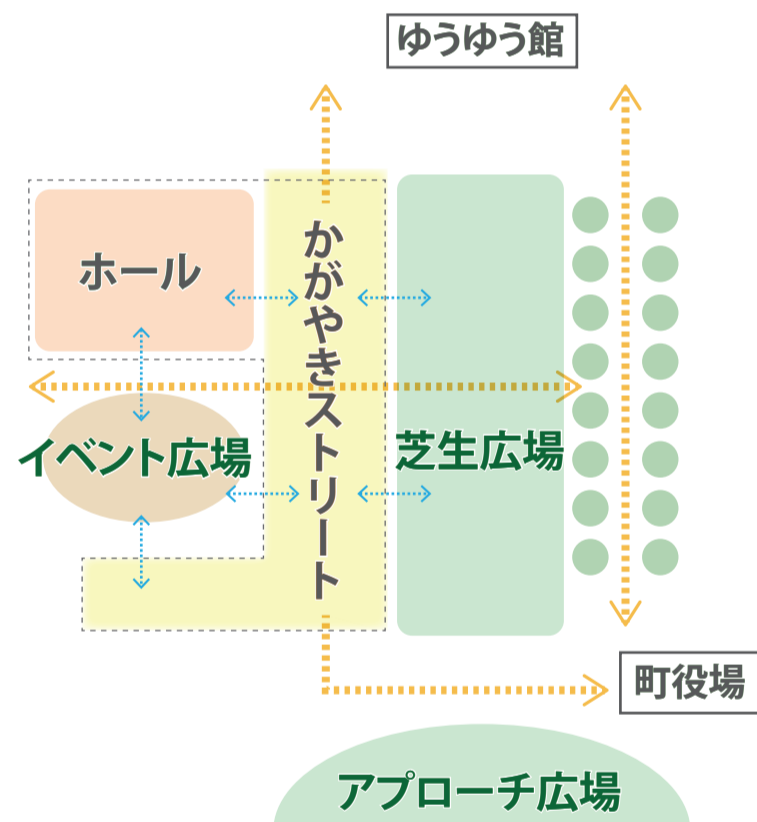
3 多様な使いこなしで盛り上がる「ホール」の可変性・拡張性

主に町民が日頃の成果を発揮できるホールとして、演劇やダンス、クラシックコンサート、バンドライブなど、幅広い演目に対応できる、適切な舞台寸法の確保や、舞台設備の充実を行います。また、通常のプロセニウム形式のほか、平土間形式への転換も可能で、展示会やマルシェ、軽運動、イベントなど多様な使い方に対応します。さらに、ホワイエやロビー、かがやきストリートから諸室へと、空間を連続させた一体的な利用も可能にします。



4 アクティビティを生み出す「3つの広場」

3方が建物内部とつながる「イベント広場」、いばらきまつりの会場ともなる「芝生広場」、町役場との一体感を生み出す「アプローチ広場」。それぞれの外部空間が内部空間とつながり、多様な使い方を広げます。そして、外部空間を介して、町役場、ゆうゆう館とも行き来しやすくさせることで、エリア全体の相乗効果につなげます。



5 安心・安全な拠り所「地域の防災施設」として

日常利用のみならず、災害時にも機能する諸室の性能および内外空間の構成に配慮します。特にイベント広場は、「防災広場」として機能。雨天時でもぬかるむことのない舗装を施し、緊急車両などの寄り付きに配慮、また、かまどベンチによる炊き出しなどに利用できます。

6 SDGs 達成に向け「ZEB Ready」を実現します

ZEB Ready相当基準である一次エネルギー消費量50%以上の削減を実現します(再生可能エネルギーを除く)。外皮の高断熱化及び高効率な省エネルギー設備を備えた建築とし、環境負荷低減に配慮します。



計画概要

所在地 : 茨城町大字小堤 1070 番地外	【ホール】
主要用途 : 集会場	客席形式 : 計 492 席
敷地面積 : 約 9950 m ²	(移動観覧席 297+スタンピング 195)
延床面積 : 約 3560 m ²	舞台形式 : プロセニウム形式
階数 : 地上 3 階 地下 0 階	(平土間形式に転換可能)
最高高さ : 16.0m	幅広い演目やイベント等に対応できる、
主体構造 : 鉄筋コンクリート造 一部鉄骨造	舞台機構、舞台照明、舞台音響を整備
駐車場 : 53 台 (うち身障者用 3 台)	
駐輪場 : 20 台	

